

村の水産振興発展に尽力される

～第28回東通村漁協役員研修会及び第50回東通村水産功労者表彰式～



9月24日(火)、東通村水産振興推進協議会(越善靖夫会長)の主催により、第28回東通村漁協役員研修会並びに第50回東通村水産功労者表彰式が開催されました。村内各漁協の役員等約100名が参加した研修会では、青森県栽培漁業振興協会 栽培部長 松橋聡氏から「新魚種の種苗生産について」アブラメ、ミネフジツボなど、青森県産業技術センター水産総合研究所 研究管理員 今村豊氏から「スルメイカの今後の見込みについて」と題し講演がありました。

研修終了後には、今回で50回目となる東通村水産功労者表彰式が行われ、長年漁協役員・職員として村の水産業発展に功績のあった方々(左表)に対し、越善会長から表彰状と記念品が授与されました。表彰された皆さんおめでとうございました。

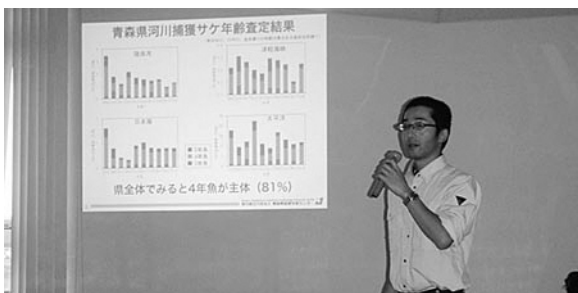
漁協役員		
氏名	所属・役職名	在職年数
相馬 善意	岩屋漁業協同組合 代表理事組合長	20年
石田 勝信	猿ヶ森漁業協同組合 副組合長理事	13年11ヶ月
住吉 與悦	尻屋漁業協同組合 副組合長理事	10年
相内 稔	白糠漁業協同組合 理事	10年
寺道 芳信	尻屋漁業協同組合 理事	10年
圓子 豊	野牛漁業協同組合 監事	10年
漁協職員		
氏名	所属・役職名	在職年数
坂本 和美	老部川内水面漁業協同組合 増殖主任	15年4ヶ月
畑中 貢	尻屋漁業協同組合 購買係長	15年

東通村漁業連合研究会「サケ漁況の見通しに係る研修会」を開催

9月20日(金)、村体育館において村漁業連合研究会(会長:二本柳亮)が「サケ漁況の見通し」についての研修会を開催し、地方独立行政法人 青森県産業技術センター 内水面研究所 研究員 松谷紀明氏より講演をしていただきました。

サケの回帰予測は、過去の河川回帰尾数、沿岸回帰尾数と年齢構成、海況予報等から予測されますが、今年の太平洋沿岸での河川回帰尾数は8万6千尾、沿岸回帰尾数は100万尾の見込みであり、サケ漁の見通しは「昨年をやや下回る」と予測されるとのことでした。これは、今年回帰するサケの主群4年魚の資源量が昨年(3年魚)少なかったためです。

当村のサケの水揚量は、昨年約1,400トンと豊漁だったことから、会員は講師の説明に熱心に耳を傾けていました。



講師 松谷研究員



熱心に耳を傾ける参加者の皆さん